

---

「みんなで作るせとうち田園都市・香川」実現計画  
実施状況  
(令和5年度施策評価結果)

---



香川県  
政策部政策課

目 次	ページ
I 行政評価の概要	
1 行政評価の目的	1
2 令和5年度の実施内容	1
II 令和5年度施策評価結果	
1 「安全と安心を築く」、「新しい流れをつくる」、「誰もが輝く」の 9つの指標の達成状況	4
2 指標から見た進捗状況	9
(1) 施策（分野別）の進捗状況	9
(2) 指標一覧	11
3 県政世論調査から見た施策（分野別）の評価	18
(1) 県政世論調査結果	18
(2) 重要度・満足度の分類	20
4 施策の実施状況等	21
(1) 防災・減災社会の構築	22
(2) 子育て支援社会の実現	33
(3) 健康長寿の推進	43
(4) 安心できる医療・介護の充実確保	48
(5) 地域福祉の推進	58
(6) 人権尊重社会の実現	65
(7) 安心して暮らせる水循環社会の確立	71
(8) 安全で安心できる暮らしの形成	75
(9) 定住人口の拡大	87
(10) 商工・サービス業の振興	92
(11) 雇用対策の推進	107
(12) 外国人材の受入れ支援・共生推進	112
(13) 交流人口の回復・拡大	116
(14) 農林水産業の振興	122
(15) 県産品の振興	137
(16) デジタル化の推進	143
(17) 交通ネットワークの整備	149
(18) 教育の充実	153
(19) 男女共同参画社会の実現	159
(20) 青少年の育成と県民の社会参画の推進	165
(21) 魅力ある大学づくり	171
(22) 環境の保全	175
(23) みどり豊かな暮らしの創造	186
(24) 活力ある地域づくり	190
(25) 文化芸術による地域の活性化	198
(26) スポーツの振興	204

目次	ページ
5 「第2期かがわ創生総合戦略」の実施状況	208
(1) 4つの基本目標の数値目標の達成状況等	208
(2) 重要業績評価指標（KPI）一覧	209
(3) 地方創生推進交付金・地方創生応援税制（企業版ふるさと納税） 活用事業等の取組状況等	215
<hr/>	
Ⅲ 資料	
「第2期かがわ創生総合戦略」と「『みんなでつくるせとうち田園都市・ 香川』実現計画」の施策対応	221

# I 行政評価の概要

## 1 行政評価の目的

県が行う施策や事務事業の成果をできるだけ客観的な指標などを用いて評価することにより、今後の見直しに活用し、効率的・効果的で県民ニーズ等に対応した施策展開に努める。また、その結果を公表することで、透明性の高い行政運営を目指す。

## 2 令和5年度の実施内容

- (1) 「『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画」の施策体系（26分野 83施策）等により施策評価を実施した。
- (2) 「第2期かがわ創生総合戦略」の実施状況を取りまとめ、戦略の進捗管理を行った。

### <行政評価の構成>

『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画』の施策体系等による施策評価	
「安全と安心を築く」、「新しい流れをつくる」、「誰もが輝く」の9つの指標の達成状況	「『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画」の基本方針「安全と安心を築く香川」、「新しい流れをつくる香川」、「誰もが輝く香川」ごとに設けた指標について、達成状況を評価するとともに、令和4年度の成果等と今後の施策展開を取りまとめた。
指標から見た施策（分野別）の進捗状況	「『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画」で目標値を設定した136の指標について、達成状況を点数化し、施策（26分野）ごとにとりまとめた。
県政世論調査から見た施策（分野別）の評価	「『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画」の施策（26分野）について、県政世論調査により重要度と満足度を調査し、評価を行った。
施策の実施状況等	「『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画」の施策体系（26分野 83施策）により、令和4年度における施策の実施状況等について評価を行った。 あわせて「第2期かがわ創生総合戦略」の関連施策等を示し、戦略に掲げる施策の実施状況を明らかにした。
「第2期かがわ創生総合戦略」の実施状況	
「第2期かがわ創生総合戦略」の基本目標の数値目標の達成状況や重要業績評価指標の状況を取りまとめた。	

### 『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画』について

本県の進むべき基本的方向とそれを実現するための方策を明らかにした県政運営の基本方針である。（計画期間：令和3年度から令和7年度の5年間）

「せとうち田園都市の確かな創造」を基本目標に掲げ、「安全と安心を築く香川」、「新しい流れをつくる香川」、「誰もが輝く香川」の3つの基本方針のもと、人口減少の克服や地域活力の向上につながる効果的な施策に重点的に取り組み、人口の社会増を伴う、魅力ある瀬戸内香川の生活圏域の確かな創造を目指している。

### 「第2期かがわ創生総合戦略」について

人口減少問題の克服と地域活力の向上を実現していくため、本県の実情に応じた目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示したものである。（計画期間：令和2年度から令和6年度の5年間）

人口の社会増減をプラスに転換し、自然減を抑制する「人口減少に挑む」と、当面の人口減少に対応した社会を構築する「人口減少に適応し、前進する」の2つの戦略を同時に推進し、長期的には人口増への転換を目指している。

参考1 『みんなで作るせとうち田園都市・香川』 実現計画」 施策体系

基本目標	基本方針	分野	施策
せとうち田園都市の確かな創造	1 安全と安心を築く香川	(1) 防災・減災社会の構築	1 南海トラフ地震・津波対策の推進 2 大規模な風水害に強いまちづくりの推進 3 危機管理体制の強化 4 防災意識の向上 5 安心につながる社会資本の整備
		(2) 子育て支援社会の実現	6 結婚・妊娠期からの支援 7 子ども・子育て支援の充実 8 子どもや子育て家庭にやさしい環境の整備 9 児童虐待防止対策・社会的養育の充実
		(3) 健康長寿の推進	10 健康づくりの推進 11 社会参加の促進と生きがいづくりの推進
		(4) 安心できる医療・介護の充実確保	12 新型コロナウイルス等の感染症対策の強化 13 安全で質の高い医療の確保 14 医師・看護職員の確保 15 介護サービス等の充実
		(5) 地域福祉の推進	16 ともに支え合う社会づくりの推進 17 障害者の自立と社会参加の促進 18 高齢者の安全の確保
		(6) 人権尊重社会の実現	19 人権啓発の推進 20 人権・同和教育の推進 21 人権擁護活動の充実
		(7) 安心して暮らせる水循環社会の確立	22 水の安定供給の確保 23 水循環の促進
		(8) 安全で安心できる暮らしの形成	24 安全な交通社会の実現 25 犯罪に強い社会の実現 26 暮らしにおける安全確保 27 セーフティネットの充実 28 人と動物との調和のとれた共生社会の実現
	2 新しい流れをつくる香川	(9) 定住人口の拡大	29 移住の促進 30 若者の定住促進
		(10) 商工・サービス業の振興	31 成長産業の育成・集積 32 創業や新事業展開の促進 33 独自の強みを持つ企業の競争力の強化 34 企業の海外展開の促進 35 産業の成長を支える人材の育成 36 中小企業の経営支援 37 企業立地の促進と産業基盤の強化
		(11) 雇用対策の推進	38 安定した雇用の創出と就労支援 39 働き方改革の推進
		(12) 外国人材の受入れ支援・共生推進	40 外国人材の受入れ支援 41 外国人との共生推進
		(13) 交流人口の回復・拡大	42 観光かがわの推進 43 地域の活性化につながる交流の推進
		(14) 農林水産業の振興	44 農業の担い手の確保・育成 45 農産物の安定供給 46 農産物の需要拡大 47 生産性を高める農業の基盤整備 48 森林整備と森林資源循環利用の推進 49 水産物の安定供給と需要拡大 50 漁業の担い手の確保・育成と生産性を高める基盤整備
		(15) 県産品の振興	51 県産品の販路開拓 52 県産品の認知度向上 53 アンテナショップの充実・強化
		(16) デジタル化の推進	54 デジタルトランスフォーメーションを支えるデジタル人材の育成 55 生産性の向上のための産業のデジタル化の加速 56 行政のデジタル化の推進
		(17) 交通ネットワークの整備	57 広域交通ネットワークの充実・強化 58 地域交通ネットワークの整備

基本目標	基本方針	分野	施策
せとうち田園都市の確かな創造	3 誰もが輝く香川	(18) 教育の充実	59 学校教育の充実 60 家庭や地域の教育力の向上
		(19) 男女共同参画社会の実現	61 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくりの推進 62 あらゆる分野における女性の活躍の推進 63 安全・安心に暮らせる社会の実現
		(20) 青少年の育成と県民の社会参画の推進	64 青少年の健全育成 65 NPO・ボランティア活動の促進 66 生涯学習の促進
		(21) 魅力ある大学づくり	67 県内大学等の充実強化 68 県内大学等との連携強化
		(22) 環境の保全	69 環境を守り育てる地域づくりの推進 70 脱炭素社会の実現に向けて地域とともに取り組む地球環境の保全 71 持続可能な循環型社会の形成 72 自然とともに生きる地域づくりの推進 73 生活環境の保全
		(23) みどり豊かな暮らしの創造	74 暮らしを支えるみどりの充実 75 県民総参加のみどりづくり
		(24) 活力ある地域づくり	76 都市・集落機能の向上 77 活力あふれる農山漁村の振興 78 地域を支える活動の促進 79 国際化の推進
		(25) 文化芸術による地域の活性化	80 文化芸術の振興 81 文化芸術による地域づくりの推進
		(26) スポーツの振興	82 スポーツ参画人口の拡大 83 競技力の向上

## 参考2 指標の達成状況の評価方法

A	R4年度実績値で進捗率が40%以上 ⇒ おおむね順調に推移した。 ※R4年度は、5年間の計画期間のうち2年目であることから、2/5(40%)以上進捗していれば、「A」評価とする。
B	R4年度実績値で進捗率が20%以上で40%未満 ⇒ 順調ではないが、一定程度進展した。
C	R4年度実績値で進捗率が0%超で20%未満 ⇒ 順調ではないが、少しは進展した。
D	R4年度実績値で進捗率が0%以下 ⇒ 進展していない。
—	統計の調査年等の関係で評価ができない。

(進捗率の計算方法) 
$$\frac{\text{「実績値 (R4年度)」} - \text{「基準値 (R2年度)」}}{\text{「目標値 (R7年度)」} - \text{「基準値 (R2年度)」}} \times 100\%$$

(例)

指標	単位	基準値 (R2年度)	実績値 (R4年度)	目標値 (R7年度)	評価
流域下水道幹線管渠の耐震化率	%	86.5	88.9	91.3	A

流域下水道幹線管渠の耐震化率について、R2年度の実績値86.5%を基準として、R7年度までの5年間で91.3%に増加させるという目標に対して、R4年度の実績は88.9%であり、進捗率が50%であったため、達成状況は「A」評価となる。

## II 令和5年度施策評価結果

### 1 安全と安心を築く、新しい流れをつくる、誰もが輝くの9つの指標の達成状況

#### 「安全と安心を築く」の指標

- 地震・津波対策海岸堤防等の整備率  
(第I期計画：H27～R6年度)

基準値 (R2年度)	実績値 (R4年度)	目標値 (R6年度)	評価
65.7%	85.1%	100%	A

- ①成果 南海トラフ地震の被害想定を踏まえ、H27.3に策定した「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、海岸堤防については高松港海岸など14港海岸の対策を実施するとともに、河川堤防についても御坊川など12河川において対策を実施した結果、地震・津波対策海岸堤防等の整備率は85.1%となり、概ね計画どおり整備が進んでいる。
- ②課題 残る第I期計画(後期)区間における護岸の整備延長が長く、整備の完了に時間を要する。
- ③今後の展開 南海トラフ地震等による津波から、早期に県民の安全・安心を確保するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく国の予算等も活用しながら、引き続き優先度の高い箇所から重点的・優先的に対策を進める。

- 保育所等利用待機児童数

区分	基準値	実績値	目標値	評価
年度当初	29人 (R3年度)	12人 (R5年度)	0人 (R8年度)	B
年度途中	220人 (R2年度)	173人 (R4年度)	0人 (R7年度)	

※目標値は、R3年度に待機児童数ゼロを達成し、R7年度までゼロを維持するもの

- ①成果 香川県保育士人材バンクにおいて、58人の再就職等を支援するとともに、未就学児を持つ27人の保育士への保育料の一部貸付け及び復職する14人の保育士への就職準備金の貸付けの実施により、潜在保育士の復職支援を行った。また、遊具の消毒や清掃などを担う「保育士支援員」を配置する5市2町の54施設に対し、市町を通じて支援を行ったほか、私立保育施設における保育士の育児休業の取得等の際の代替保育士について、民間派遣会社を活用した支援を14件行い、保育士の勤務環境改善及び離職防止を図った。
- ②課題 入所申込児童数は、前年同期と比較して減少したが、地域ごとの需要に見合う保育士の確保が十分でないこと等から、未だ待機児童が発生していると考えられる。
- ③今後の展開 引き続き潜在保育士の復職支援等による保育士人材の確保に努めるとともに、保育現場の様々な課題に対応し、現任保育士等の離職防止を図るため、専門家を派遣し、保育士等が抱える不安や悩みの相談を受け、助言等を行う事業により、保育士等が長く働くことができる職場の環境づくりを支援する。

## ■ 交通事故死者数

基準値 (R2年)	実績値 (R4年)	目標値 (R7年)	評価
59人	35人	39人以下	A

- ①成果 広報・啓発、交通環境の整備、交通指導取締りを柱とした対策を実施した結果、R4年中の交通事故死者数は前年を2人下回る35人となった。
- ②課題 交通事故死者数の7割が高齢者であることや四輪の事故死者の5割がシートベルト非着用であること、人対車両の死亡事故の大半が道路横断中に発生していることなどを踏まえた対策が課題となっている。
- ③今後の展開 事故の特徴を踏まえ、高齢者の交通事故抑止対策の強化やシートベルトの全席着用の徹底、横断歩道の安全利用の促進を図るとともに、交通事故の起きにくい環境の整備や適正かつ効果的な交通指導取締りを推進する。

## 「新しい流れをつくる」の指標

### ■ 人口の社会増減

基準値 (R2年)	実績値 (R4年)	目標値 (R7年)	評価
▲1,381人	▲430人	1,000人	A

- ①成果 R4年の人口の社会増減は▲430人の社会減（転出超過）となり、新型コロナウイルス感染症の影響で入国が抑制されていた外国人の国外移動が転入超過に転じた結果、前年（R3年）の▲2,969人から減少幅が改善した。
- ②課題 一方、国内移動については、R3年の▲2,066人からR4年は▲2,834人へと▲768人の転出超過が拡大している状況にあり、年齢層別にみると、15歳から29歳の若い年齢層で多くなっており、とりわけ就職時期に相当する20歳～24歳の層が最も多い状況で、近年同様の傾向が続いている。
- ③今後の展開 市町や関係機関等と連携して、子どもを産み育てやすい環境など、本県の魅力についての効果的な情報発信や、テレワークの活用の後押しなどによる仕事や住まいのマッチング、定住のサポートに取り組むとともに、学生や社会人のU・J・Iターン就職等を促進していく。



## ■ 県外観光客数

基準値 (R2年)	実績値 (R4年)	目標値	評価
6,184千人	7,770千人	コロナ影響前の 実績値(R元年)まで 速やかな回復を図る	—

- ①成果 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ旅行需要を喚起するため、本県への旅行に対する助成等を行うとともに、SNSを活用した情報発信や、OTAと連携した観光コンテンツの造成・販売強化のほか、観光客の満足度向上のため、おもてなし運動を展開するなどの受入環境整備に取り組んだ。こうした取り組みのほか、感染症対策による行動制限の緩和もあり、県外観光客数は昨年と比べ約200万人増の回復となった。
- ②課題 新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されたことから、観光分野の地域間競争は一段と激化することが予想されるため、観光地として選ばれる誘客策が必要である。  
また、制限が緩和されても観光関連事業者は極めて厳しい経営状況に置かれていることから、即効性のある需要喚起施策が必要である。
- ③今後の展開 観光需要の落ち込みを緩和するため、継続的に需要喚起施策を行うとともに、SNSを中心とする戦略的な情報発信や、地域の観光資源を活用した魅力あるコンテンツの造成など、変化・多様化する国内外の観光ニーズに対応した施策を推進し、県外観光客の誘客を図る。

## ■ Setouchi-i-Base の拠点利用者数

基準値 (R2年度)	実績値 (R4年度)	目標値 (R7年度)	評価
4,162人	27,203人	45,162人	A

- ①成果 人材育成講座や利用者相互の活動・交流に資するイベントを開催したほか、専任のコーディネーターによる起業や新規ビジネスなどに関する各種相談に対応することで、起業件数や拠点利用者数の増加につなげることができた。
- ②課題 イノベーションを創出するデジタル人材の育成のためには、日々進化するデジタル技術に対応した実践的な講座を実施するとともに、新しいアイデアや価値がたゆみなく生み出されるよう、人材の交流と活躍の機会を創出する必要がある。
- ③今後の展開 社会のニーズや潮流、施設利用者層の特性を踏まえ、引き続き、デジタル技術や事業創造に関する人材育成講座を開催するとともに、施設利用者等の人材の活動・交流の場の提供、利用者それぞれがめざすイノベーションの創出に向けた相談対応や伴走支援等の取り組みを推進する。

## 「誰もが輝く」の指標

### ■ 「授業の内容がよく分かる/だいたい分かる」と答えた児童生徒の割合

区分	基準値 (R2 年度)	実績値 (R4 年度)	目標値 (R7 年度)	評価
小学 5 年生	73.1%	69.7%	77%	D } D
中学 2 年生	59.5%	57.5%	65%	

- ①成果 「授業の内容がよく分かる/だいたい分かる」と答えた児童生徒の割合は、基準値に比べ減少しており、目標値に近づけなかったものの、国の小学 6 年生と中学 3 年生を対象とした R4 年度全国学力・学習状況調査では、小・中学校ともに、国語、算数・数学で全国平均を上回っている状況である。
- ②課題 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学習面でも以前より制約を受けたことが、学習意欲や授業内容の理解にも影響を与えたと考えられるが、一方で、「普段の授業で話し合う活動をよく行っていると思う/どちらかと言えば行っていると思う」と答えた児童生徒の割合は、小・中学生とも前年度より増加しており、今後は、話し合う活動が学習意欲や授業内容の理解の向上につながるよう、授業の内容を改善していく必要がある。
- ③今後の展開 授業内容の理解は児童生徒の学力向上につながるものであり、今後も話し合い活動を取り入れた授業の改善充実を推進し、児童生徒の確かな学力を育成するとともに、教員の指導力の向上や ICT の効果的な活用などに積極的に取り組んでいく。

### ■ 女性活躍推進の自主宣言 「かがわ女性キラサポ宣言」 登録企業数〔累計〕

基準値 (H28~R2 年度)	実績値 (R3~R4 年度)	目標値 (R3~R7 年度)	評価
175 社	86 社	180 社	A

- ①成果 県内企業に働き方改革推進アドバイザーを派遣し、女性労働者が働きやすくなるための取組み内容や目標を県ホームページで宣言してもらおうよう働きかけ、R4 年度の登録者数は 49 社となった。
- ②課題 妊娠・子育て期に退職したり、就業を中断したりする女性は少なくないため、ワーク・ライフ・バランスの実現や雇用の分野での男女の均等な確保を通じて、働く女性の活躍支援が求められている。
- ③今後の展開 今後も香川労働局や市町、庁内各部局及び「かがわ働く女性応援会議」と連携を図り、企業経営者や労働者に向けた啓発などを行うとともに、働きやすい職場環境づくりの促進等により、働く女性の活躍推進に努める。

## ■ 県内大学卒業生の県内就職率

基準値 (R2 年度)	実績値 (R4 年度)	目標値 (R7 年度)	評価
43.3%	42.2%	52%	D

- ①成果 地域の社会経済を支える人材の育成・定着や人材が活躍する場の形成を目的に設立した「大学・地域共創プラットフォーム香川」において、対面及びオンライン形式による就職説明会や業種別オンライン県内企業見学ツアー等の取組みを実施し、県内大学卒業生の県内就職の促進を図った。
- ②課題 根強い県外大手企業等への就職志向などにより、県内大学卒業生の県内就職率は、R4 年度は 42.2%にとどまり、県内大学卒業生の半数以上が県外企業に就職している状況にある。「大学・地域共創プラットフォーム香川」で実施する調査結果などを踏まえ、人材の育成・定着等に向けた効果的な取組みを行う必要がある。
- ③今後の展開 学生等へのアンケート調査の深掘りや分析などにより、就職に係る学生ニーズを捉え、産学官の各主体が連携して、県内就職者の増加等につながる効果的な取組みを実践していく。

## 2 指標から見た進捗状況

### (1) 施策（分野別）の進捗状況

「『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画」において目標値を設定した136の指標（※）について、達成状況を点数化し、施策ごとにとりまとめた。

136の指標のうち、55指標（40%）がA評価となっており、県の基本課題の克服に向けて一定進捗しているものと考えられる。一方、20指標（15%）がD評価となっているほか、目標を「コロナ影響前の実績値まで速やかな回復を図る」としている分野「交流人口の回復・拡大」や「交通ネットワークの整備」の指標についても、コロナ影響前までの回復はみられておらず、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、県の施策進捗に課題が残る結果となっている。

#### 〔3つの基本方針ごとの評価〕

##### ○安全と安心を築く香川（40指標）

18指標（45%）がA評価となっており、特に分野「安全で安心できる暮らしの形成」の指標「交通事故重傷者数」、「刑法犯認知件数」、「犬猫の殺処分数」等が概ね順調に推移したが、4指標（10%）がD評価となった。

##### ○新しい流れをつくる香川（57指標）

23指標（40%）がA評価となっており、特に分野「商工・サービス業の振興」の指標「海外展開を行った企業数」や、分野「農林水産業の振興」の指標「県産認証木材の搬出量」等が概ね順調に推移したが、5指標（2%）がD評価となった。

##### ○誰もが輝く香川（46指標）

16指標（35%）がA評価となっており、分野「環境の保全」の指標「生活環境の向上（大気・水・騒音の満足度）」や分野「活力ある地域づくり」の指標「多面的機能の維持・発揮活動を行う農用地面積」、「県内で活動する地域おこし協力隊員数」等が概ね順調に推移したが、12指標（26%）がD評価となった。

※指標の延べ総数は143であるが、うち7の指標は2つの施策にまたがって設定した再掲指標であり、再掲指標を除くと136の指標となる。

## 〔施策（分野）別の進捗度〕

施策（分野）	達成状況						平均進捗度
	A評価	B評価	C評価	D評価	—	計	
<b>安全と安心を築く香川</b>							
(1) 防災・減災社会の構築	5	3				8	3.6
(2) 子育て支援社会の実現	1	3		1	1	6	2.8
(3) 健康長寿の推進		1	2			3	2.3
(4) 安心できる医療・介護の充実確保	1	1	1	1	1	5	2.5
(5) 地域福祉の推進	3		1			4	3.5
(6) 人権尊重社会の実現	1	2				3	3.3
(7) 安心して暮らせる水循環社会の確立	1		1			2	3.0
(8) 安全で安心できる暮らしの形成	6		1	2		9	3.1
計	18	10	6	4	2	40	3.1
<b>新しい流れをつくる香川</b>							
(9) 定住人口の拡大	2	1		2		5	2.6
(10) 商工・サービス業の振興	7	2			3	12	3.8
(11) 雇用対策の推進	3	2				5	3.6
(12) 外国人材の受入れ支援・共生推進	1	2		1		4	2.8
(13) 交流人口の回復・拡大					6	6	—
(14) 農林水産業の振興	6	6	1	1		14	3.2
(15) 県産品の振興	2			1	1	4	3.0
(16) デジタル化の推進	2		2		1	5	3.0
(17) 交通ネットワークの整備					2	2	—
計	23	13	3	5	13	57	3.2
<b>誰もが輝く香川</b>							
(18) 教育の充実	1			3		4	1.8
(19) 男女共同参画社会の実現	2	2		1		5	3.0
(20) 青少年の育成と県民の社会参画の推進		1		2		3	1.7
(21) 魅力ある大学づくり			2	2		4	1.5
(22) 環境の保全	7	2		1		10	3.5
(23) みどり豊かな暮らしの創造	1	2				3	3.3
(24) 活力ある地域づくり	4	1		1	1	7	3.3
(25) 文化芸術による地域の活性化	1	1	3			5	2.6
(26) スポーツの振興		1		2	2	5	1.7
計	16	10	5	12	3	46	2.7

- (注) 1 「達成状況」の各欄の数字は指標数  
 2 「平均進捗度」は、目標値の達成状況の評価をA：4点、B：3点、C：2点、D：1点として換算し、その合計を指標数で除して算出したもの（4点満点）  
 3 再掲指標（7）があるため、合計は136にならない。

※136の指標の評価結果（再掲なしの全体集計）

A評価	55	40%
B評価	31	23%
C評価	14	10%
D評価	20	15%
—（評価不能）	16	12%

## (2) 指標一覧

指標番号	指標	単位	基準値 (R2年度)	実績値 (R4年度)	目標値 (R7年度)	評価	施策 番号	再掲 施策	担当部局
<b>1 安全と安心を築く香川</b>									
<b>(1) 防災・減災社会の構築</b>									
1	地震・津波対策海岸堤防等の整備率(第I期計画:H27~R6年度)	%	65.7	85.1	100 (R6年度)	A	1		土木部
2	流域下水道幹線管渠の耐震化率	%	86.5	88.9	91.3	A	1		土木部
3	防災重点農業用ため池の整備箇所数(全面改修)	箇所	3,541	3,568	3,651	B	2		農政水産部
4	河川整備計画に基づき河川整備を行っている県管理河川の整備率	%	66.8	69.4	73.8	B	2		土木部
5	「防災士」登録者数	人	2,919	3,384	4,250	B	3		危機管理総局
6	防災アプリ「香川県防災ナビ」のダウンロード件数及び防災情報メールの登録件数	件	44,461	62,532	57,000	A	4		危機管理総局
7	「地区防災計画」策定数	地区	33	58	63	A	4		危機管理総局
8	県管理の公共土木施設の補修箇所数	施設	261	345	350	A	5		土木部
<b>(2) 子育て支援社会の実現</b>									
9	かがわ縁結び支援センターの縁結びマッチングにおけるカップル数〔累計〕	組	1,361 (H29~R2年度)	510 (R3~R4年度)	1,730	B	6		子ども政策推進局
10	保育所等利用待機児童数	人	年度当初 29 (R3年度) 年度途中 220 (R2年度)	年度当初 12 (R5年度) 年度途中 173 (R4年度)	年度当初 0 (R8年度) 年度途中 0 (R7年度)	B	7		子ども政策推進局
11	地域子育て支援拠点事業実施か所数	箇所	99	99	102	— (※1)	7		子ども政策推進局
12	子育て行動計画策定企業認証マーク取得企業数〔累計〕	社	116 (H28~R2年度)	46 (R3~R4年度)	120	B	8	39	商工労働部
13	里親等委託率	%	24.5	20.9	38	D	9		子ども政策推進局
14	家族再統合プログラム実施件数〔累計〕	件	133	454 (R2~R4年度)	456 (R2~R7年度)	A	9		子ども政策推進局
<b>(3) 健康長寿の推進</b>									
15	がん検診受診率	%	胃:45.6 肺:55.4 大腸:46.6 子宮:48.4 乳:51.2 (R元年度)	胃:45.1 肺:54.0 大腸:47.9 子宮:48.8 乳:52.2	55以上 (毎年度)	C	10		健康福祉部
16	特定健康診査の実施率	%	53.2 (H30年度)	55.8 (R3年度)	70以上 (毎年度)	C	10		健康福祉部
17	高齢者いきいき案内所相談件数〔累計〕	件	3,160 (H28~R2年度)	1,173 (R3~R4年度)	3,300	B	11		健康福祉部
<b>(4) 安心できる医療・介護の充実確保</b>									
18	感染症対応人材育成事業で育成した感染症専門医数〔累計〕	人	—	0 (R3~R4年度)	3 (R3~R7年度)	— (※2)	12		健康福祉部
19	かがわ医療情報ネットワーク「K-MIX R」で中核病院等が新たに情報連携した患者数〔累計〕	人	—	8,121 (R3~R4年度)	15,000 (R3~R7年度)	A	13		健康福祉部
20	大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に急性期から活動できる災害派遣医療チーム(DMAT)のチーム数	チーム	47	39	55	D	13		健康福祉部

指標 番号	指標	単位	基準値 (R2年度)	実績値 (R4年度)	目標値 (R7年度)	評価	施策 番号	再掲 施策	担当部局
21	香川県医学生修学資金貸付制度による県内従事医師数	人	60	77	108	B	14		健康福祉部
22	介護福祉士の登録者数	人	15,410	16,335	21,300	C	15		健康福祉部
(5)地域福祉の推進									
23	認知症サポーター養成数	人	111,834	123,953	130,000	A	16		健康福祉部
24	障害者就業・生活支援センターに登録した障害者数	人	1,678	1,838	1,896	A	17		健康福祉部
25	専門性の高い意思疎通支援を行う者の養成者登録数	人	217	224	273	C	17		健康福祉部
26	高齢者人口10万人当たりの交通事故による高齢者死者数	人	14.4	7.9	7.4以下	A	18		危機管理総局 警察本部
(6)人権尊重社会の実現									
27	人権・同和研修参加者数(累計)	人	60,351 (H28~R2年度)	19,185 (R3~R4年度)	70,000 (R3~R7年度)	B	19		総務部
28	人権・同和教育教職員ハンドブックを活用して校内研修を行った学校の割合	%	50.8	61.2	100	B	20		教育委員会
29	隣保館職員の相談援助研修受講率	%	69.8 (R元年度)	72.2	75	A	21		総務部
(7)安心して暮らせる水循環社会の確立									
30	県内上水道施設(基幹的な水道管)の耐震管率	%	23.3 (R元年度)	24.7 (R3年度)	33	C	22		政策部
31	普段の生活で節水している人の割合	%	80.6 (R元年度)	85.1	84以上	A	23		政策部
(8)安全で安心できる暮らしの形成									
32	交通事故死者数	人	59 (R2年)	35 (R4年)	39以下 (R7年)	A	24		危機管理総局 警察本部
33	交通事故重傷者数	人	269 (R2年)	232 (R4年)	200以下 (R7年)	A	24		危機管理総局 警察本部
34	刑法犯認知件数	件	4,543 (R2年)	4,173 (R4年)	4,000以下 (R7年)	A	25		警察本部
35	重要犯罪検挙率	%	105.1 (R2年)	100 (R4年)	100 (R7年)	A	25		警察本部
36	サイバー犯罪の検挙件数	件	125 (R2年)	180 (R4年)	150 (R7年)	A	25		警察本部
37	特殊詐欺被害総額	万円	8,321 (R2年)	9,985 (R4年)	7,000以下 (R7年)	D	26		警察本部
38	就労支援事業等に参加した者のうち、就労した者及び就労による収入が増加した者の割合	%	41.4 (R元年度)	36.8 (R3年度)	50	D	27		健康福祉部
39	就労支援事業等に参加可能な者の事業参加率	%	37.5 (R元年度)	42.5 (R3年度)	65	C	27		健康福祉部
40	犬猫の殺処分数	%減	犬 570頭 猫 342匹	犬 43.5 猫 13.2 (R2年度比)	犬 25 猫 10 (R2年度比)	A	28		健康福祉部

指標 番号	指標	単位	基準値 (R2年度)	実績値 (R4年度)	目標値 (R7年度)	評価	施策 番号	再掲 施策	担当部局
<b>2 新しい流れをつくる香川</b>									
<b>(9) 定住人口の拡大</b>									
41	県人口	人	951,049 (R2年)	933,757 (R4年)	925千 (R7年)	D	29		政策部
42	人口の社会増減	人	▲1,381 (R2年)	▲430 (R4年)	1,000 (R7年)	A	29		政策部
43	県外からの移住者数〔累計〕	人	8,951 (H28～R2年度)	5,279 (H3～R4年度)	12,400 (H3～R7年度)	A	29		政策部
44	若者(15歳～39歳)の社会増減	人	▲1,810 (R2年)	▲1,402 (R4年)	251 (R7年)	B	30		政策部
45	県内大学卒業生の県内就職率	%	43.3	42.2	52	D	30	68	政策部
<b>(10) 商工・サービス業の振興</b>									
46	名目経済成長率	%	県 1.4 全国 2.0 (H29年度)	県 1.3 全国 △0.8 (R元年度)	全国平均よりも 高い水準	A	31		商工労働部
47	製造業における就業者1人当たりの生産額	万円	4,319 (H30年度)	3,922 (R2年度)	コロナ影響前の実績値 (H30年度)まで速やかな回復を図る	— (※3)	31	55	商工労働部
48	開業した事業所数〔累計〕	件	3,785 (H27～R元年度)	1,497 (R2～R3年度)	3,800 (R2～R6年度)	B	32		商工労働部
49	県の創業支援制度の利用者に占める創業等事業者数〔累計〕	件	327 (H28～R2年度)	269 (R3～R4年度)	330 (R3～R7年度)	A	32		商工労働部
50	産業技術センターの研究開発による製品化件数〔累計〕	件	106 (H28～R2年度)	55 (R3～R4年度)	110 (R3～R7年度)	A	33		商工労働部
51	現地技術指導件数 (産業技術センター)	件	118	168	コロナ影響前の実績値 (H30年度)まで速やかな回復を図る	— (※3)	33	35	商工労働部
52	海外展開を行った企業数	社	404 (R2年)	435 (R4年)	428 (R6年)	A	34		商工労働部
53	高等技術学校修生の就職率	%	79.1	81.3	80	A	35	38	商工労働部
51	現地技術指導件数 (産業技術センター)	件	118	168	コロナ影響前の実績値 (H30年度)まで速やかな回復を図る	— (※3)	35	33	商工労働部
54	経営革新計画の承認件数〔累計〕	件	146 (H28～R2年度)	110 (R3～R4年度)	150 (R3～R7年度)	A	36		商工労働部
55	商工会・商工会議所による県内中小企業の年間相談対応件数〔累計〕	件	281,866 (H28～R2年度)	108,188 (R3～R4年度)	285,600 (R3～R7年度)	B	36		商工労働部
56	企業立地件数〔累計〕	件	158 (H28～R2年度)	79 (R3～R4年度)	160 (R3～R7年度)	A	37		商工労働部
<b>(11) 雇用対策の推進</b>									
57	県の就職支援策における就職件数〔累計〕	件	3,913 (H28～R2年度)	1,566 (R3～R4年度)	4,000 (R3～R7年度)	B	38		商工労働部
53	高等技術学校修生の就職率	%	79.1	81.3	80	A	38	35	商工労働部
58	「かがわ働き方改革推進宣言」登録企業数〔累計〕	社	191 (H30～R2年度)	132 (R3～R4年度)	300 (R3～R7年度)	A	39		商工労働部
59	「かがわ女性キラサボ宣言」登録企業数〔累計〕	社	175 (H28～R2年度)	86 (R3～R4年度)	180 (R3～R7年度)	A	39	62	商工労働部



指標番号	指標	単位	基準値 (R2年度)	実績値 (R4年度)	目標値 (R7年度)	評価	施策 番号	再掲 施策	担当部局
12	子育て行動計画策定企業認証 マーク取得企業数〔累計〕	社	116 (H28～R2年度)	46 (R3～R4年度)	120 (R3～R7年度)	B	39	8	商工労働部
(12)外国人材の受入れ支援・共生推進									
60	外国人労働人材相談窓口での相 談件数〔累計〕	件	83	187 (R3～R4年度)	481 (R3～R7年度)	B	40		商工労働部
61	外国人労働者数	人	10,422	10,274	15,579	D	40		商工労働部
62	かがわ外国人相談支援センターに おける相談支援件数〔累計〕	件	235	871 (R3～R4年度)	1,090 (R3～R7年度)	A	41		総務部
63	香川国際交流会館(アイパル香川) 利用者数〔累計〕	人	140,000	264,461 (R3～R4年度)	700,000 (R3～R7年度)	B	41	79	総務部
(13)交流人口の回復・拡大									
64	県外観光客数	千人	6,184 (R2年)	7,770 (R4年)	コロナ影響前の実績値 (R元年)まで速やかな 回復を図る	— (※3)	42		交流推進部
65	延宿泊者数	千人	2,529 (R2年)	3,240 (R4年)	コロナ影響前の実績値 (R元年)まで速やかな 回復を図る	— (※3)	42		交流推進部
66	外国人延宿泊者数	千人	81 (R2年)	34 (R4年)	コロナ影響前の実績値 (R元年)まで速やかな 回復を図る	— (※3)	42		交流推進部
67	観光消費額	億円	683 (R2年)	1,077 (R4年)	コロナ影響前の実績値 (R元年)まで速やかな 回復を図る	— (※3)	42		交流推進部
68	MICEの参加者数	人	5,055	42,382	コロナ影響前の実績値 (R元年)まで速やかな 回復を図る	— (※3)	43		交流推進部
69	MICE開催件数	件	23	111	コロナ影響前の実績値 (R元年)まで速やかな 回復を図る	— (※3)	43		交流推進部
(14)農林水産業の振興									
70	新規就農者数〔累計〕	人	717 (H28～R2年度)	281 (R3～R4年度)	750 (R3～R7年度)	B	44		農政水産部
71	認定農業者である農業法人数	法人	343 (R元年度)	368 (R3年度)	400	A	44		農政水産部
72	県オリジナル品種の作付面積 (野菜、果樹、花き、オリーブ)	ha	246 (R元年度)	261 (R3年度)	300	B	45		農政水産部
73	ブランド農産物の生産量	t	37,960 (H27～R元 年度の平均)	35,475 (R3年度)	41,810	D	45		農政水産部
74	小麦「さぬきの夢」取扱店舗数	店舗	85	157	210	A	46		農政水産部
75	新たに6次産業化や農商工連携に 取り組む農業経営体数	経営体	118	144	168	A	46		農政水産部
76	ほ場整備面積	ha	7,678	7,724	7,803	B	47		農政水産部
77	農地中間管理事業による貸付面積	ha	2,823	3,645	4,300	A	47		農政水産部
78	森林整備と木材利用に関する認知 度	%	47	50	60	B	48		環境森林部
79	県産認証木材の搬出量	m³	10,230 (H27～R2 年度平均)	13,197	12,000	A	48		環境森林部
80	オリーブ水産物の生産尾数 〔累計〕	万尾	130.0 (H28～R2年度)	40.4 (R3～R4年度)	141.4 (R3～R7年度)	B	49		農政水産部
81	水産エコラベル認証取得件数 〔累計〕	件	2 (H28～R2年度)	1 (R3～R4年度)	10 (R3～R7年度)	C	49		農政水産部
82	新規漁業就業者数〔累計〕	人	149 (H28～R2年度)	64 (R3～R4年度)	165 (R3～R7年度)	B	50		農政水産部

指標番号	指標	単位	基準値 (R2年度)	実績値 (R4年度)	目標値 (R7年度)	評価	施策 番号	再掲 施策	担当部局
83	藻場造成面積	ha	124	127	129	A	50		農政水産部
(15) 県産品の振興									
84	県産品の国内販売額 (県サポート実績)	千円	2,004,239	1,948,601	2,364,000	D	51		交流推進部
85	県産品の海外販売額 (県サポート実績)	千円	290,491	460,843	465,000	A	51		交流推進部
86	県産品の認知度(重点産品)	%	24.4	28.1	28.8 (R6年度)	A	52		交流推進部
87	アンテナショップの販売額(物販)	千円	260,191	420,693	コロナ影響前の実績値 (R元年度)まで速やかな回復を図る	— (※3)	53		交流推進部
(16) デジタル化の推進									
88	Setouchi-i-Baseの拠点利用者数	人	4,162	27,203	45,162	A	54		政策部
89	Setouchi-i-Baseにおける拠点活動を通じた起業・就職者数	人	5	88	155	A	54		政策部
47	製造業における就業者1人当たりの生産額	万円	4,319 (H30年度)	3,922 (R2年度)	コロナ影響前の実績値 (H30年度)まで速やかな回復を図る	— (※3)	55	31	商工労働部
90	知事部局における行政手続のうちオンラインで申請等ができるものの割合	%	1.7	10.0	100	C	56		政策部
91	県が提供するオープンデータの利用件数	件	144,063	149,213	100万	C	56		政策部
(17) 交通ネットワークの整備									
92	定期航空路線利用者数	万人	41	133	コロナ影響前の実績値 (R元年度)まで速やかな回復を図る	— (※3)	57		交流推進部
93	主な公共交通機関利用者数	千人	31,185	31,306	コロナ影響前の実績値 (R元年度)まで速やかな回復を図る	— (※3)	58		交流推進部
3 誰もが輝く香川									
(18) 教育の充実									
94	「授業の内容がよく分かる/だいたい分かる」と答えた児童生徒の割合	%	小学校5年生 73.1 中学校2年生 59.5	小学校5年生 69.7 中学校2年生 57.5	小学校5年生 77 中学校2年生 65	D	59		教育委員会
95	授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合	%	小学校 68.8 中学校 59.2 高等学校 85.4 特別支援学校 70.5 (R元年度)	小学校 71.8 中学校 62.9 高等学校 80.7 特別支援学校 66.7 (R3年度)	小学校 100 中学校 100 高等学校 100 特別支援学校 100	D	59		教育委員会
96	保護者学習会への「さぬきっ子安全安心ネット指導員」の派遣数	回	25	23	75	D	60		教育委員会
97	地域学校協働本部等整備率	%	28.6	50.5	60.3	A	60		教育委員会
(19) 男女共同参画社会の実現									
98	社会全体における男女の地位について「平等」と答えた者の割合	%	14.3	11.1	20	D	61		政策部
99	県の審議会等に占める女性委員の割合	%	35.8	37.4	40	B	62		政策部
59	「かがわ女性キラサボ宣言」登録企業数(累計)	社	175 (H28~R2年度)	86 (R3~R4年度)	180 (R3~R7年度)	A	62	39	商工労働部

指標番号	指標	単位	基準値 (R2年度)	実績値 (R4年度)	目標値 (R7年度)	評価	施策 番号	再掲 施策	担当部局
100	県防災会議の女性委員比率	%	15.0	18.3	30	B	63		危機管理総局
101	配偶者等から暴力を受けた経験がある被害者の相談先について「どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた者の割合	%	36.4 (R元年度)	26.1	18.2	A	63		政策部
(20) 青少年の育成と県民の社会参画の推進									
102	香川県青年センターの利用者数	人	40,855	49,850	64,000	B	64		子ども政策推進局
103	認定(特例認定)特定非営利活動法人数	法人	8	8	13	D	65		政策部
104	県立図書館の利用者数	人	463,054 (H29～R元 年度の平均)	396,949	480,000	D	66		教育委員会
(21) 魅力ある大学づくり									
105	自県大学進学者の割合	%	16.8	17.4	21	C	67		政策部
106	県内大学等における関係機関との連携協定締結数	件	313	328	423	C	67		政策部
45	県内大学卒業生の県内就職率	%	43.3	42.2	52	D	68	30	政策部
107	県内大学等におけるリカレント講座の受講者数	人	1,185 (H28～R2 年度の平均)	859	1,200	D	68		政策部
(22) 環境の保全									
108	環境保全活動や環境学習講座等への参加状況	%	29.4 (R3.6現在)	39.7 (R5.6現在)	40	A	69		環境森林部
109	県と連携した市町・事業者・民間団体数	団体	69	89	94	A	69		環境森林部
110	温室効果ガス削減率(対H25年度)	%	▲15.8 (H29年)	▲24.4 (R2年)	▲33	A	70		環境森林部
111	「脱炭素に向けたライフスタイル等の転換」を意識した県民行動の定着度	%	75.6 (R3.6現在)	67.2 (R5.6現在)	90	D	70		環境森林部
112	一般廃棄物の最終処分量	万t	3.1 (R元年度)	2.6 (R3年度)	2.6	A	71		環境森林部
113	産業廃棄物の最終処分量	万t	17.2 (R元年度)	14.7 (R3年度)	16.1	A	71		環境森林部
114	生物多様性に関する県民の認知度	%	37.2 (R3.6現在)	42.0 (R5.6現在)	50	B	72		環境森林部
115	生物多様性の保全に向けて県と連携した事業者・民間団体数	団体	-	7	15	A	72		環境森林部
116	汚水処理人口普及率	%	78.8 (R元年度)	81.1	85	B	73		環境森林部
117	生活環境の向上 (大気・水・騒音の満足度)	%	52.6 (R3.6現在)	59.3 (R5.6現在)	58	A	73		環境森林部
(23) みどり豊かな暮らしの創造									
118	みどりの豊かさ(森林・公園などの満足度)	%	62 (R3.6現在)	63 (R5.6現在)	65	B	74		環境森林部
119	公園・緑地面積	ha	1,838 (R元年度)	1,842 (R3年度)	1,856 (R6年度)	B	74		環境森林部
120	森林ボランティア活動の関心度	%	61 (R3.6現在)	64 (R5.6現在)	65	A	75		環境森林部

指標 番号	指標	単位	基準値 (R2年度)	実績値 (R4年度)	目標値 (R7年度)	評価	施策 番号	再掲 施策	担当部局
(24) 活力ある地域づくり									
121	立地適正化計画区域内の人口	千人	671	752	760	A	76		土木部
122	多面的機能の維持・発揮活動を行う農用地面積	ha	14,280	15,218	15,000	A	77		農政水産部
123	グリーン・ツーリズム交流施設の体験・宿泊者数	人	84,300	126,200	コロナ影響前の実績値(R元年度)まで速やかな回復を図る	— (※3)	77		農政水産部
124	県内で活動する地域おこし協力隊員数	人	45	58	53	A	78		政策部
125	地域運営組織の組織数	組織	83	82	96	D	78		政策部
126	国際交流員による活動数	回	137	149	160	A	79		総務部
63	香川国際交流会館(アイパル香川)利用者数(累計)	人	140,000	264,461 (R3~R4年度)	700,000 (R3~R7年度)	B	79	41	総務部
(25) 文化芸術による地域の活性化									
127	かがわ文化芸術祭の参加団体数〔累計〕	団体	446 (H28~R2年度)	162 (R3~R4年度)	500 (R3~R7年度)	B	80		文化芸術局
128	県立文化施設の特別展の入場者数〔累計〕	人	227,718 (H28~R2年度)	40,683 (R3~R4年度)	240,000 (R3~R7年度)	C	80		文化芸術局
129	四国遍路の世界遺産登録に向けての札所寺院および遍路道の保護措置数	か所	8	9	19	C	81		文化芸術局
130	国県指定の文化財数〔累計〕	件	14 (H28~R2年度)	2 (R3~R4年度)	15 (R3~R7年度)	C	81		教育委員会
131	文化財の保存活用計画と文化財保存活用地域計画の作成件数〔累計〕	件	1	7 (R3~R4年度)	7 (R3~R7年度)	A	81		教育委員会
(26) スポーツの振興									
132	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	54.9 (R元年度)	52.5	65	D	82		教育委員会
133	生涯スポーツ指導者養成講座の受講者〔累計〕	人	292 (H28~R2年度)	93 (R3~4年度)	300 (R3~R7年度)	B	82		教育委員会
134	オリンピック大会に出場した本県関係の選手数	人	2 (過去5大会の平均人数)	—	3 (R6年度)	— (※4)	83		教育委員会
135	パラリンピック大会に出場した本県関係の選手数	人	0.8 (過去5大会の平均人数)	—	2 (R6年度)	— (※4)	83		健康福祉部
136	国民体育大会男女総合成績	位	31 (H27~R元年度の平均順位)	36	20台	D	83		教育委員会

※1 R4年度は整備予定がなかったことから、評価は「—」としている。

※2 R5年度以降に感染症専門医が取得できるよう研修プログラムを開始しているところであり、R5年度までは評価できないことから「—」としている。

※3 目標値を「コロナ影響前の実績値まで速やかな回復を図る」としていることから、評価は「—」としている。

※4 4年に1度の開催(次回予定:R6年度予定)であるため、評価していない。